



みやぎ

- 36号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院  
 発行責任者 清野 仁  
 〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地  
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316  
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

平成25年度のスタートにあたって

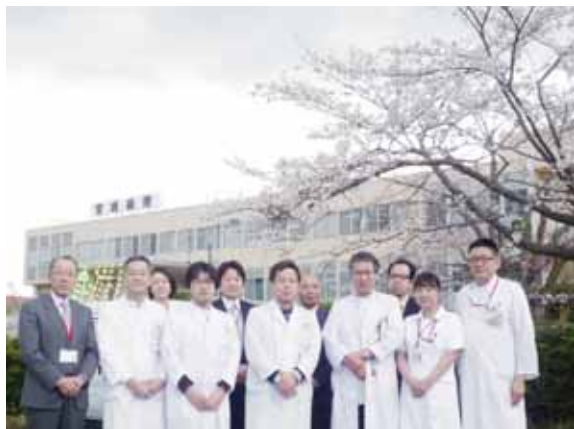
院長 清野 仁

今年は、例年になく遅い春の訪れとなりましたが、一気に、梅と桜が競演し色とりどりの花々が咲き誇る春となりました。しかし、町全体を覆う色は、やはり震災前とはどこか違っており、一抹の寂しさを感じているところでもあります。

この季節は、年中行事とはいえ、今年もまた、別れの寂しさと出会いの喜びを味わいました。当院においては、3月31日付けで、42名もの大勢の方々が、退職や異動で病院を去られました。そのほとんどが、一昨年の大震災をともに乗り越えた方々であり、より一層の寂しさを感じるとともに、大いに傷手となりました。長い間、宮城病院のためにご尽力いただいたことに、この誌上を借りて、あらためて感謝を申し上げる次第です。

一方、4月に入り、新規採用や人事異動などで多くの新しい仲間を迎え入れることができました。卒業したばかりの新社会人も、一週間の新人研修を難なく終え、その初々しく、澁刺とした姿には、大きく成長し、大いに当院を活性化してくれるものと期待しているところです。また、今年度は、薬剤科長、経営企画室長をはじめ、多くの経験を積まれた大勢の職員の方々を迎えることができました。この新しい体制で、山積する多くの課題に取り組み、乗り越えていきたいと思えます。

(次ページへ)



前列左から：村上事務部長、伊藤臨床研究部長、  
 安藤統括診療部長、久永副院長、清野院長、  
 青山看護部長、菅野薬剤科長  
 後列左から：大竹副看護部長、大泉管理課長、藤原  
 企画課長、三浦経営企画室長

基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。

(前ページより)

人口減少による患者数の減少や自立支援法の改正に伴う収入減への対応、12月に控えた病院機能評価受審の準備、町の復興事業計画の中での当院を中心とした医療福祉ゾーン構築への参加、外来・管理棟建て替え事業の推進、仕切り直しとなった国立病院機構の新法人への移行など、様々な課題が待ち受けています。

当院の経営については、他の要因もあるものの、震災の影響が徐々に現れ、震災前に比し、医業収益の減少を余儀なくされています。しかしこのような逆境の中にもありながらも、平成24年度も、ハードルの高い年度末賞与を4年連続で支給することができました。これは、震災の被害を受けながら、地域住民のため、安全かつ信頼される医療の提供のため、職員全員が一丸となって取り組んだ成果の賜と考えており、改めて、心から感謝を申し上げたいと思います。

東日本大震災という未曾有の大災害から、この3月で早や2年が経過しました。山元町でも復興は徐々にではありますが、着実に進んでおります。工事車両が行き交い、県内でも、いち早く災害復興住宅が完成し、苺ファームのハウスも林立するようになりました。しかし、JR常磐線の再開は数年先の予定となり、今なお、2,000名の方が仮設住宅に居住している状況もあり、今後ともさらに住民の流出による人口の減少が懸念されます。一層スピード感を持った復旧、復興が待たれるところですが、宮城病院は復興事業に全面的に協力することとしております。町があつての病院であり、山元町の復興も唯一の病院である当院があつてこそ初めて進むものと考えており、町の復興・発展と歩調を合わせて、さらに充実した病院作りを目指す所存です。

当院の医療が、住民の生活に密着し、町の復興・地域の発展に大きく寄与するためにも、引き続き、住民に「安全で心を込めた良い医療」を提供していきたいと思います。

## 職 場 紹 介

## ～ 中 央 3 病 棟 ～



中央3階病棟を紹介します。

現在は、パーキンソン病の患者様が薬の調整やリハビリ、電気刺激装置の調整などをするために入院されています。また、今まで同様に脳梗塞、脳出血などのリハビリ患者様、ALS患者様の短期レスパイトや治験を受ける患者様も入院されています。

以前は同じ患者様とのお付き合いが多かったように思いますが、4月に入ってからはいろいろな患者様が入退院をされるようになり、病棟の雰囲気も変化しています。

しかし、当病棟は若いスタッフが多いためか、このような変化にも柔軟に対応できており、頼もしい限りです。スタッフの底力を感じます。

4月から内科、神経内科、脳神経外科の新しい担当先生をはじめ、新人3名と師長が変わり、これからは皆さんと協力して頑張っていきますので、どうぞよろしくをお願いします。

(中央3病棟看護師長 樋口 いみ子)

## 満員御礼！時間外！『NST症例検討会！』50人！大盛況！

去る2月27日（火）18：00からNST研修会を開催致しました。今年度4回目の内容は、宮城NSTとして初の試みである症例検討会でした。

NSTメンバーも2月の研修会は“症例検討”という意識が徐々にピークに達し、つい2ヶ月前から各職種間で群雄割拠することもなく、周到に準備し当日を迎えました。折しもこの日は院内QC活動報告会が行われたので、参加者は10人位かも。。。という一抹の不安を感じていたのは筆者だけではなかったと思います。



当初、25部用意した資料はアッという間に消失し、管理課の方々に2度も増刷をお願いする程でした。検査科阿部副技師長の流暢な司会進行、イントロダクションは、小笠原栄養士から『宮城NSTの現状』として、これまでの活動状況や統計、収入等の報告がありました。引き続き本題である『NST介入効果』の3症例を加藤薬剤師、菊地副看護師長、芦名副看護師長から報告がありました。そして、NSTチェアマンである安藤統括診療部長から『今後の宮城NSTの課題』と題して、5項目を挙げられ、その対策を示唆されました。更に、質疑応答では伊藤臨床研究部長、松本神経内科医長、北出理学療法士長から活発な質疑応答がなされました。特筆すべきはフロアとの討論の中でNST活動に更に付加価値（医療&報酬）が加わる話題が出たことです。新年度に向けて、宮城NSTだけではなく、参加された方々全員に一石を投じた研修会であったと感じました。今後のNST活動並びに研修会にご期待ください。最後にNSTメンバー並びに参加された職員の皆様、本当におつかれさまでした。

（栄養管理室長 篠島 良介）



## 紹介医療機関 （3月末日現在）ご紹介ありがとうございます。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ・松村クリニック（86件）   | ・公立相馬総合病院（67件）  |
| ・仙台厚生病院（59件）    | ・みやぎ県南中核病院（49件） |
| ・平田外科医院（47件）    | ・東北大学病院（45件）    |
| ・やべ内科クリニック（45件） | ・南東北病院（44件）     |
| ・三浦クリニック（43件）   | ・金上病院（37件）      |

上位10医療機関のほか、県内外214医療機関からご紹介いただいております。

# 診療案内

平成25年4月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
			神部 陽子	神部 陽子		仙台医療センター医師
神経内科	新患	伊藤 博明	久永 欣哉	安藤 肇史	松本 有史	久永 欣哉
	再来	久永 欣哉	伊藤 博明	久永 欣哉	久永 欣哉	
		今井 尚志		松本 有史	伊藤 博明	
呼吸器科		芦野 有悟				
消化器科				県立がんセンター (13:30~15:30)	県立がんセンター (検査日)	
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)		療育相談 (大島 武子)	
整形外科						県立がんセンター (13:30~15:30)
形成外科						澤村 武 泉山 祐美 隔週交代 (13:30~15:30)
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大(第3木)	
リハビリテーション科 新患					大隅 悦子 (14:00~15:00)	
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	伊藤 博明	久永 欣哉		松本 有史	久永 欣哉
	もの忘れ外来	伊藤 博明	久永 欣哉		松本 有史	久永 欣哉
	頭痛外来	神経内科外来にて随時受付				
	ALS外来	今井 尚志				
	禁煙外来					山本 蒔子 (第2・4週)
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	

## 受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承願います。

## 交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から

JR常磐線亘理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)

